慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	松崎寿著 工業政策
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1919
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.13, No.6 (1919. 6) ,p.800(136)- 801(137)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19190601-0136

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ない。昨年飯島幡司氏は佛國經濟學原論中最も廣く世に行はれたるシャール・ジード氏 Charles Gideの原論 Principles d' Economie politique を邦譯し之を上梓せられたるが、今又大塚氏の筆に成るマーシャール原論の譯書に接するを得たるは吾人の欣喜に堪ざる所である。

松崎壽著『工業政策』

大正八年四月東京巖松堂發行
菊版本文四一七頁定價金二圓

本書は大阪高等商業學校教授なる商學士松崎壽氏が同校に於ける氏の講義の稿本を基礎として著はされたものであつて、著者は先づ經濟政策をば『國家竝に公共團體が統治權の作用に基きて行ふ各種の方策を指すもの』と定義し、之を分ちて農業政策、商業政策、工業政策、交通政策、植民政策及び社會政策の六種と爲すを便なりと說き、更に工業政策は工業其のものに對する各種の方策のみならず、工業勞働者に對する社會的施設をも包含するものなること認めたるも、本書に於て著者が主として論述せるは前者即ち狹義の工業政策上の諸問題に外ならぬ。

而して、經濟研究の目的に就きては、著者は單に過去及び現在に於て各國政府が實際に採りたる政策及び其の結果を闡明するを以て足れりとせず、進んで將來に於て實施す可き方策を講究するに努む可きものなることを主張して居られる。次に、工業の意義に關しては、著者は工業を以て、(甲)原料に加工して其實質又は形態を變化せしむる行爲或は、(乙)此加工生産をは營利の目的を以て獨立の企業として連續的に行ふものと爲す二個の解釋を排し、『加工生産を繼續的に營む一つの生産組織』なる定義を與へ、之を出發點として工業と他種生産業との區別を明

かにせられてゐる。著者は更に是れより進んで企業聯合及び合同の性質並に利害、工業の保護奬勵策、工業教育、工業所有權、工業金融との關係等に就き多年の蘊蓄を傾到して居られる。本書は分量に於ては必ずしも大著述と云ふ可きものでは無いかも知れぬが、著者の說く所簡にして而かも要を盡したる稀に見る快著である。工業政策論上造詣深き著者にして此著あるは蓋し偶然の結果ではあるまい。吾人は工業政策の研究者に對する絶好の一新參考書として本書を推擧するの機會を得たるを欣ばざるを得ない。